

○令和7年度 1学期で実施した進路行事

・5月22日(木) 教育実習生による学部学科説明会(全学年対象)



全学年を対象に毎年教育実習期間に合わせて、実習生に自分たちが所属する学部学科の説明会を実施しています。実習生の皆さんは、授業準備等忙しい合間を縫って、プレゼン資料を作成していただき、当日は高校での学びと大学での学びの違い、また、学部の特徴など、分かりやすく説明していただきました。

会終了後も、個別に質問に来た生徒たちに対し、丁寧に対応していただきました。協力していただいた実習生の皆さん、ありがとうございました。

・6月30日(月)6限LT 1年生普通科進路講演会(1年生及び2年生文系生徒対象)



本校はSSH指定校であるため、大学を中心に理系分野の学びに触れる機会が多い一方、文系分野の学びに触れる機会が限られていました。昨年度より普通科1年生を対象とした進路講演会を実施し、文理を問わず幅広く視野を広げる機会を設けております。

令和7年度は名古屋大学大学院人文学研究科の日比嘉高先生をお招きして、プライバシーと日本文学について、具体的な判例をもとにその歴史的変遷をお話いただきました。生徒たちは大学の学びの一端に触れながら、文学部で学べることの幅広さ・奥深さに気づいたようでした。講演会終了後も、個別の質問をしに来た生徒たちに対して、丁寧に答えていただきました。日比先生、ありがとうございました。

・7月5日(土) 土曜講座 医学科志望者向け志望理由書・面接勉強会(3年生対象)



多くの医学部医学科では、志望理由書や面接などを通して、「なぜ医師を目指したのか」「何を学び、どのような医師になりたいのか」といった人物・適性・志が問われます。

本年度、新たな試みとして医学部医学科に通う卒業生に来てもらい、医学科での6年間の学びについて直接伺う機会を設けました。来ていただいた卒業生の方は医学部医学科5年生で、すでに病棟実習に入っていたため、現在興味関心のある専門分野についてや学会発表のことなど、外からではなかなか分からない医学科の学びの様子について詳しくお話しいただきました。

参加した医学科を志望する3年生の生徒は、具体的な医学科での学びについてイメージを深めるとともに、自身の志望理由について改めて見つめ直す機会となったようでした。

・7月24日(木) 難関大説明会 海外進学編(全学年希望者対象)



夏休み前期補習の午後の時間を利用して、海外の大学に直接進学した卒業生を招いた講演会を行いました。

講師の樋口諒さんは、現役時代、本校の陸上競技部に所属し、高校3年の夏に800mでインターハイやジュニアオリンピックに出場されました。その活躍を通して、海外留学のエージェントから声がかかり、現在はアメリカ合衆国のカンザス大学でビジネス会計学を学びながら、陸上競技を続けていらっしゃいます。昨年2024年のU20日本選手権1500mで優勝したことで、全国的にも注目を集めました。講演当日は、海外の大学での過ごし方、進学に至るまでの過程、英語の勉強法など、長期にわたって現地で過ごしているからこそその話を多く聞くことができました。

「あえて不自由、不利にチャレンジすることで自らの成長につなげる」ということを強調された樋口さんの言葉に、聴講した生徒は感銘を受け、全体の質疑応答だけでなく個別の質問も積極的に行う様が見えました。

樋口さんの今後の益々の活躍を祈念しています。